

夕張川かわら版

「夕歩道」とは
夕張川と流域住民をつなぐ
川の道です

※夕歩道の「紙面」の色は、夕張川の水の色を表現しています。

夕歩道

令和4年初秋
其の四一

第42回

夕張川流域会議～現場視察～

- 日時：令和4年9月14日（水） 13:30～15:30
- 視察場所：栗沢頭首工、長栗大橋下流伐採箇所、ショウドウツバメ営巣地対岸、夕張川下流掘削箇所

第42回の流域会議は、現地を見ながらの意見交換会が実施されました。栗沢頭首工では、魚道の維持管理が官民連携で行われていること、また9月19日には、草刈り等の環境整備とサケ・マス遡上観察が予定されていることが報告されました。ショウドウツバメ営巣地対岸では、ショウドウツバメが掘落箇所に営巣することを前提に、河岸保護対策について意見の交換がありました。長栗大橋下流の伐採箇所と夕張川下流の掘削箇所では、伐採、掘削箇所の経過観察を行い、環境や川の利活用に配慮した川づくりを進めることを確認しました。



主な意見

- ・長栗大橋下流の河岸層には砂利がある。この砂利を活かして（サケ・マスが産卵する）川づくりが重要だ。
- ・営巣地を維持するには、融雪洪水流量を対象に考えて、適度に河岸崩壊を促進するという方法を考える。
- ・漂筋をどこにするかという河道計画は、河川利用、洪水対策含めてしっかりと協議して決めていく必要がある
- ・掘削箇所がこれからどのように変化していくか、経過を見ながら意見を頂きたい。※議事録要旨は、江別河川事務所HP「夕張川流域会議」参照

河川利用についての意見交換会 ～川をもっと活用したい！！～

- 集合日時：令和4年6月6日（月）13:30～16:00
- 集合場所：ショウドウツバメ営巣地対岸（河川敷ゴルフ場左岸の上流端）
- 参加者：NPO雨煙別学校、教育委員会担当者等、河川利用活動に従事している方々、江別河川事務所

夕張川流域では川下り、川流れ、環境学習等、様々な川活動が行われています。南幌町の河川敷ゴルフ場左岸のショウドウツバメ営巣地対岸、栗沢頭首工左岸、長沼頭首工下流左岸は、活動場所として多くの利用があります。利用者と河川管理者が実際にこれらの利用箇所を見ながら、活動の状況、管理の状況を確認、更なる利用のために意見交換をしました。利用者と河川管理者が情報交換し、役割を分担して利用箇所の維持管理をしていくことを確認しました。



（長沼頭首工下流）
川下り、ボート練習で利用



（栗沢頭首工左岸）
魚道学習で利用



（ショウドウツバメ
営巣地対岸）
ツバメやコウモリ観察で
利用

夕張川の生物たち アメマス（エゾイワナ）

アメマスは、エゾイワナとも呼ばれます。これは降海型がアメマス、陸封型（河川残留型）がエゾイワナとなるようです。降海型は川で2～3年生活し、スモルト化（銀化）し、海へ下りますが、ダム湖や湖沼を海と見なして降海型になる個体もあるそうです。繁殖期は9～11月で、川で水生昆虫、幼魚等を食べ、海では小魚、エビ、甲殻類等を食べます。写真の個体は夕張川支流で採れたもので、体長30cmくらいでした。

きれいな色をしています。参考：「日本の淡水魚」 山と渓谷社



↑白い斑点が特徴的！

川の指導者講習会

～川活動を楽しく安全にするために～

- 日時：令和4年6月18～19日 9:30～17:00
- 場所：コカ・コーラ環境ハウス、清幌床止め右岸、長沼頭首工下流左岸～馬追橋上流右岸



川の指導者講習会は、川での活動を行う際に知っておかなければならぬこと、身に付けておかなければならぬことを学ぶ実技と座学の講習です。1日目は、流域生態研究所の妹尾氏から川の仕組みと川の機能、指導者の心得、改修河川と自然河川の違い等について講義がありました。2日目は、自由使用原則の川での安全確保、ボート操船の基礎、レスキューロープを使った救助訓練等がありました。

●1日目講義：川の仕組みと川の機能、改修河川と自然河川の違い、川活動の進め方、魚類調査の注意点、魚類の生態と河川環境、指導者の心得

●2日目講義：河川利用の様態、安全確保と注意義務、川の自由使用原則と届け出、ボートの特徴と操船、レスキュー ロープによる救助、事故未然に防ぐ準備等



トンボ (ヤンマ科のトンボ?) の模型づくり



NPO 雨煙別学校で、小学生が「トンボの模型」づくりに挑戦しました。木を紙やすりで削り、色を塗り、ビーズの目玉を付けます。セロハンフィルムに羽根を書いて、型を取り胴体にねじ止めました。カッコいいトンボの完成！！

NPO法人ふらっと南幌イベント 「湿原再生の喜び」開催

- 日時：令和4年7月10日（日）10:30～
- 場所：夕張川湿原再生地周辺（栗幌橋下流右岸）

NPO 法人ふらっと南幌は、夕張川河川敷で湿性植物の再生活動に取り組んでいます。「湿原再生の喜び」は、その湿性植物再生地で行われているイベントで、フットバスで夕張川周辺を歩き、カキツバタ、サワギキョウ、ホロムイリンドウ等を観察しました。湿性植物の移植をした後は、馬頭琴の演奏等を聞くお楽しみプログラムもあり参加者はとても喜んでいました。



発行：夕張川流域会議事務局

江別河川事務所：〒067-0074 江別市高砂町5 電話 011-382-2358
夕張川ダム総合管理事務所：〒068-0546 夕張市南部青葉町573 電話 0123-55-5151



タブ道バッケナンバーは、ホームページをご覧ください。「夕張川流域会議」で検索